

人による吸収性評価試験で、他の水溶性CoQ₁₀に比べ約18倍高い吸収性が確認されている。また、人工腸液中でCoQ₁₀γCD包接体150mgに対してビタミンCを300mg添加すると、ミセル形成によって、数10分から小腸を通過する数時間後には90%以上が還元型に変換されることを確認。未包接体では還元型への変換反応はみられず、γCD包接体特有の現象であることも確認済み。「吸収型CoQ₁₀は、還元型の保存安定性と吸収性を改善でき、摂取量を抑えても正確に必要な量の還元型CoQ₁₀を体内に吸収できる」としている。

吸収型CoQ₁₀を用いた臨床試験では、コラーゲン産生作用に伴う美肌作用、骨粗しょう症予防効果、筋肉細胞の活性化と筋肉保護作用、抗酸化作用に伴う腎機能と肝機能の正常化、エネルギー産生作用とその作用に伴うスポーツパフォーマンスの向上——などの効果を確認。こうした研究結果を生かし、食品の機能性表示に向けた製品開発もサポートする。

また同社では、国内外の大学など多くの研究機関と共同研究を実施している。直近では、5月18日から開催される国際シクロデキストリンシンポジウムにおいて、神戸大学医学部、香川大学農学部との共同研究「γCD包接体によるミセル形成を經由したCoQ₁₀の還元」について研究結果を発表する。

可溶化と還元化、吸収性を改善した「吸収型CoQ₁₀」を提案

シクロケム

(株)シクロケム(本社・兵庫県神戸市)では、『吸収型CoQ₁₀γCD包接体(=吸収型CoQ₁₀)』を提案する。

『吸収型CoQ₁₀』とは、酸化型CoQ₁₀をγCDで包接することにより、吸収性・安定性・持続性を向上させたもの。健常者72

